



令和六年度総会報告



令和六年度総会が、10月30日（水）、京都府綾部市で開催されました。綾部市での開催は設立総会を行った昭和六十一年度、平成十六年度に続き3回目となりました。

北部産業創造センター（綾部市ものづくり交流館）を総会会場とし、全国から67名の会員の方々にご出席いただき、



早川尚秀会長（足利市長）の挨拶で開会。開催地である綾部市長の山崎善也様からの歓迎の言葉がありました。



迎のご挨拶に続いて、特別顧問の足利義徳様、顧問の京都府知事代理として商工労働観光部観光政策監の野口礼子様からご挨拶をいただきました。その後議事に入り、令和五年度事業報告及び決算報告、次いで令和六年度事業計画及び予算について事務局から説明がありました。

明があり、原案のとおり承認。また、次年度総会開催地について、栃木県さくら市で開催することをご了承を賜わり、代表としてさくら市長の花塚隆志様からご挨拶をいただきました。終了後、同会場にて全員で記念撮影を行いました。



講演会

総会終了後、同会場にて帝塚山大学文学部日本文化学科准教授の花田卓司様を講師に



お迎えし、「足利尊氏をめぐる人びと―父貞氏・母清子・弟直義―」と題してご講演をいただきました。

交流懇親会

その後、綾部市地域交流センター（あやテラス・ホール）に会場を移し、交流懇親会を





実施。早川会長、綾部市山崎市長からご挨拶をいただいた後、綾部商工会議所材木会頭の乾杯のご発声で会員間の親睦を深めました。



アトラクションとして、あやべ太鼓保存会による綾部太鼓の演奏、陳曼麗様による二胡の演奏を披露いただき、賑やかに交流の輪を広げました。また、徳島県阿南市平井副市長から、「足利氏との縁について」と題して、阿南市のご紹介をいただきました。



最後に、次年度開催地のさくら市花塚市長、綾部市観光協会平野会長から締めのご挨拶をいただき、華やかで思いつく深い夜となりました。



追善法要

翌日、安国寺にて追善法要が行われました。安国寺は足利尊氏が国家安泰を祈願するため、光福寺を改め「丹波安国寺」として全国筆頭に置か



れた寺院であり、境内には国の重要文化財に指定されている「足利尊氏寄進状」をはじめ、数多くの文化財を有して



います。境内では、尊氏産湯の井戸、母清子・尊氏・妻登子の墓とされる宝篋印塔等を見学しました。



エキスカーション

追善法要後、「ゆう月」にて昼食会を行いました。奥綾部の趣のある料亭での昼食に



舌鼓を打ちました。

その後、グンゼスクエアに



立ち寄り、グンゼのあゆみを紹介しているグンゼ博物苑、秋のバラまつり開催中の綾部バラ園、綾部の特産品を取り扱っているあやべ特産館を見学。綾部バラ園では総会開催を祈念したバラの植樹を行いました。会員の皆さまが思い思いに綾部観光を堪能した後、現地にて解散となり、全日程が終了となりました。

令和七年度総会開催地紹介

(栃木県さくら市)



さくら市は、栃木県の中部のやや北東よりに位置しており、良好な泉質から日本三大美肌の湯と呼ばれる喜連川温泉や豊かな自然、城下町や宿場町としての歴史があります。また、市営博物館「さくら市ミュージアム」には、法隆寺の壁画模写にも参加し、数多くの傑作を残した日本画家である荒井寛方の作品が数多く収蔵され、様々な企画展



道の駅きつれがわ

など開催しており、首都圏からも訪れる方が増加しております。

ます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客が激減した時期もありましたが、道の駅きつれがわのリニューアル、氏家雛めぐりや桜まつりなどイベントPR活動を展開していることもあり、温泉や喜連川足利氏の城下町、旧奥州街道を散策する観光客で賑わいを見(魅)せております。



ゆうゆうパークの桜

令和七年度の総会は、さくら市で開催することにご賛同いただきありがとうございます。本市は来年、市制20周年の年でもあります、精一杯のおもてなしをさせていただきます。

編集後記



きますので、皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

綾部市における総会には多数の皆様にご出席をいただきありがとうございました。

また、総会開催にあたり、綾部市の皆様並びに関係機関の皆様には、多大なるご協力と素晴らしいおもてなしをいただき、心から感謝申し上げます。

今後も引き続き会報やホームページにおいて、会員の皆様の近況等をご紹介しますので、たらと思っておりますので、ぜひご寄稿くださいますようお願いいたします。

なお、次年度の総会は、令和7年10月21日(火)、22日(水)の開催を予定しております。詳細等が決まりましたら、改めてお知らせいたしますので、皆様のご出席をお待ちしております。